



タケエイ社長

山口 仁司氏

「社長に就任して半年経過したが、めまぐるしく過ぎた半年間だった。昨年は年初から厳しい環境を予想していたところ、その通りの年になった。」

「川崎リサイクルセンターに掘り起こし産廃の専用処理棟を建設、昨年12月から稼働した。従来リサイクルが困難な掘り起こし産廃を、できるだけ効率的に土砂と廃棄物に分別し、リサイクルを可能にするための施設だ。掘り起こし産廃は再開発現場の増加に伴い増加傾向にあり、当社としては積極的に対応すべきと考えている。」

# 先を見据えた近未来型に事業モデルを変革

「1つは中長期に対応するものの考え方、2つ目は短期的に厳しい経営環境にどう対応するかというところから、3つの重点方針を打ち出し取り組んでいる。第1に『基本戦略の加速』を掲げた。基本戦略とは、幅広い分野をワンストップでソリ

「1つは中長期に対応するものの考え方、2つ目は短期的に厳しい経営環境にどう対応するかというところから、3つの重点方針を打ち出し取り組んでいる。第1に『基本戦略の加速』を掲げた。基本戦略とは、幅広い分野をワンストップでソリ

「1つは中長期に対応するものの考え方、2つ目は短期的に厳しい経営環境にどう対応するかというところから、3つの重点方針を打ち出し取り組んでいる。第1に『基本戦略の加速』を掲げた。基本戦略とは、幅広い分野をワンストップでソリ

「1つは中長期に対応するものの考え方、2つ目は短期的に厳しい経営環境にどう対応するかというところから、3つの重点方針を打ち出し取り組んでいる。第1に『基本戦略の加速』を掲げた。基本戦略とは、幅広い分野をワンストップでソリ

「1つは中長期に対応するものの考え方、2つ目は短期的に厳しい経営環境にどう対応するかというところから、3つの重点方針を打ち出し取り組んでいる。第1に『基本戦略の加速』を掲げた。基本戦略とは、幅広い分野をワンストップでソリ

「1つは中長期に対応するものの考え方、2つ目は短期的に厳しい経営環境にどう対応するかというところから、3つの重点方針を打ち出し取り組んでいる。第1に『基本戦略の加速』を掲げた。基本戦略とは、幅広い分野をワンストップでソリ



フジコーポレーション社長

山口 幸男氏

「排出側は何か一番環境負荷がかからず、100%再生でき、さらに再生品の需要があるかなど、すべての根拠を持つた上で工法、業者を選挙しなければならぬ。一方処理側は100%再生できる廃棄物のみを受け入れる」こと

「排出側は何か一番環境負荷がかからず、100%再生でき、さらに再生品の需要があるかなど、すべての根拠を持つた上で工法、業者を選挙しなければならぬ。一方処理側は100%再生できる廃棄物のみを受け入れる」こと

「排出側は何か一番環境負荷がかからず、100%再生でき、さらに再生品の需要があるかなど、すべての根拠を持つた上で工法、業者を選挙しなければならぬ。一方処理側は100%再生できる廃棄物のみを受け入れる」こと

「排出側は何か一番環境負荷がかからず、100%再生でき、さらに再生品の需要があるかなど、すべての根拠を持つた上で工法、業者を選挙しなければならぬ。一方処理側は100%再生できる廃棄物のみを受け入れる」こと

「排出側は何か一番環境負荷がかからず、100%再生でき、さらに再生品の需要があるかなど、すべての根拠を持つた上で工法、業者を選挙しなければならぬ。一方処理側は100%再生できる廃棄物のみを受け入れる」こと

「排出側は何か一番環境負荷がかからず、100%再生でき、さらに再生品の需要があるかなど、すべての根拠を持つた上で工法、業者を選挙しなければならぬ。一方処理側は100%再生できる廃棄物のみを受け入れる」こと

# 真の循環型社会実現には全国民の参画が不可欠

「排出側は何か一番環境負荷がかからず、100%再生でき、さらに再生品の需要があるかなど、すべての根拠を持つた上で工法、業者を選挙しなければならぬ。一方処理側は100%再生できる廃棄物のみを受け入れる」こと

「排出側は何か一番環境負荷がかからず、100%再生でき、さらに再生品の需要があるかなど、すべての根拠を持つた上で工法、業者を選挙しなければならぬ。一方処理側は100%再生できる廃棄物のみを受け入れる」こと

「排出側は何か一番環境負荷がかからず、100%再生でき、さらに再生品の需要があるかなど、すべての根拠を持つた上で工法、業者を選挙しなければならぬ。一方処理側は100%再生できる廃棄物のみを受け入れる」こと

「排出側は何か一番環境負荷がかからず、100%再生でき、さらに再生品の需要があるかなど、すべての根拠を持つた上で工法、業者を選挙しなければならぬ。一方処理側は100%再生できる廃棄物のみを受け入れる」こと

「排出側は何か一番環境負荷がかからず、100%再生でき、さらに再生品の需要があるかなど、すべての根拠を持つた上で工法、業者を選挙しなければならぬ。一方処理側は100%再生できる廃棄物のみを受け入れる」こと

「排出側は何か一番環境負荷がかからず、100%再生でき、さらに再生品の需要があるかなど、すべての根拠を持つた上で工法、業者を選挙しなければならぬ。一方処理側は100%再生できる廃棄物のみを受け入れる」こと

# 2011年 我が社のビジネス戦略